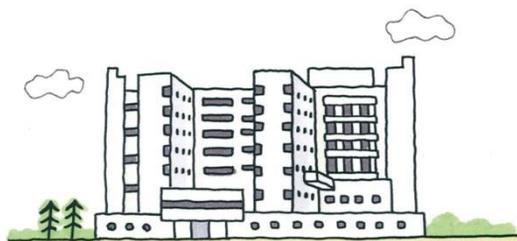


患者さんパンフレット

四国がんセンター
婦人科



私たち医療スタッフは

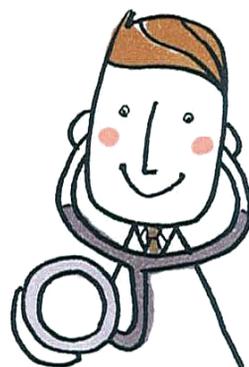
- I. 化学療法に対する不安を軽減し、最良の状態
治療が受けられるようお手伝いいたします

- II. 治療後の苦痛や副作用を最小限にし、順調に回復され
安心して退院を迎えられるようお手伝いいたします

1

アバスチン+キイトルーダ 療法を受けられる方へ

さま



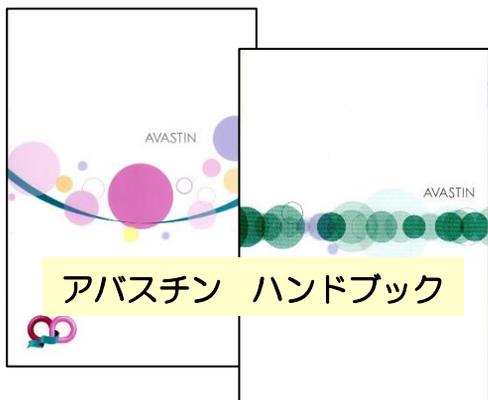
主治医

受け持ち看護師

アバチン療法について

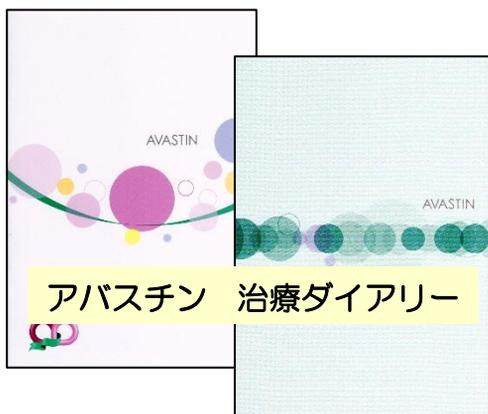
入院後、薬剤師よりお薬について説明があります

治療中は、薬剤師より配布されるアバチン療法の冊子2冊（アバチンハンドブック、アバチン治療ダイアリー）とこのパンフレットを見るようにしてください



* アバチンハンドブックには、薬の概要や治療の流れ、注意点、特徴的な副作用について詳しく記載されています

* 入院後、薬剤師や看護師から説明があります



* アバチン治療ダイアリーは副作用や血圧のチェック、気になることを記入できるようご用意しています

* 治療開始前から治療終了まで使用します

* 記載のページがなくなれば医療スタッフへ伝えてください



* このパンフレット「アバチン+キイトルーダ療法を受けられる方へ」は、日々の点滴のスケジュール内容や入院中の注意点などについて、詳しく記載されています

キイトルーダ療法について

入院後、薬剤師よりお薬について説明があります

治療中は、薬剤師より配布されるキイトルーダ療法の冊子2冊（キイトルーダ治療ハンドブック、キイトルーダ治療ダイアリー）とこのパンフレットを見るようにしてください



* キイトルーダ治療ハンドブックには、薬の概要や治療の流れ、注意点や特徴的な副作用について詳しく記載されています

* 入院後、薬剤師や看護師から説明があります

キイトルーダ 治療ハンドブック



* キイトルーダ治療ダイアリーは、普段の体調の記録と気になることを記入できるようご用意しています

* 治療開始前から治療終了まで使用します

* 記載のページがなくなれば医療スタッフへ伝えてください

キイトルーダ 治療ダイアリー

気になることや
わからないことなど、
何かあれば遠慮なく
お尋ねください



ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、日々の目標として患者さんご自身の目標をかかげ、さらによりよい状態で退院を迎えられるよう医療スタッフの目標もあげています

入院は3日間の予定です

治療後の回復は、個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすすまないこともあります。その都度対応していきますのでご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活が不安なく送られるようにサポートさせていただきます



入院日～治療前日 月 日～月 日



今日の目標

- ・入院生活と治療内容について理解できる
- ・治療中の注意事項について理解できる
- ・心身共に治療を受けられる状態にある

<時間>	<予定>	
11:00	入院	【入院後に以下のことを予定しています】 ・看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明 (テレビの病院案内も参考にしてください) ・血圧測定、身体測定
12:00	昼食	・血液検査、尿検査、胸部レントゲン、心電図 ・入院前の生活状況や身体状況の聞き取り ・禁煙の確認
		治療の流れや注意事項について説明します 「アバスチンハンドブック」参照 「キイトルーダ治療ハンドブック」参照
		<お薬> 他の病院で処方された薬については、 一度お預かりし、医師の指示を確認後、 続けるか、中止するかをお伝えします
		<食事> 特に制限はありません (医師の指示がある場合を除きます)
18:00	夕食	<活動> 制限はありません シャワー浴は時間内であれば いつでも可能です
21:30	消灯	<睡眠> 眠れないときはお知らせください



キイトルーダ
治療ハンドブック

このパンフレットを
用いて説明します

薬剤師からの治療の流れや副作用の説明があります



医療スタッフの目標

- ・安心して治療を受けられるよう支援します

抗がん剤投与当日 月 日



今日の目標

- 副作用症状出現時は、医療スタッフに伝えることができる
- 転倒しない

<時間>

<予定>

6:00

起床、検温

7:30

朝食



このパンフレットを用いて説明します

キイトルーダ
治療ハンドブック

9:30

医師が点滴を開始します
点滴のスケジュールは次のページをご覧ください
治療は午前の場合と、午後の場合があります
前日までにお知らせします

※抗がん剤投与前と抗がん剤投与開始5分後に血圧、脈拍を測定します
• 点滴中の移動は、ゆっくり行いましょう

12:00

昼食

副作用症状と日常生活の注意点について説明します
「アバスチンハンドブック」参照
「キイトルーダ治療ハンドブック」参照

14:00

検温

点滴が終了後、シャワー浴ができます
体調に合わせて体を拭くこともできます
看護師がお手伝いします

18:00

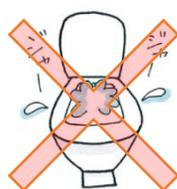
夕食

19:00

検温

21:30

消灯



尿や便から抗がん剤が排泄されます
点滴をしてから2日間は1回では十分流しきれないためトイレでの排泄後は
ふたをして水を2回流しましょう

医療スタッフの目標

- 抗がん剤点滴中の副作用症状の早期発見に努めます
- 抗がん剤の血管外漏出予防に努めます

点滴スケジュール

医師または研修を受けた看護師が、医師の指示のもと
点滴を始めます

午前治療 9:30 ~ 午後治療 14:00 ~

1本目	生理食塩水100mlの点滴を始めます
2本目	生理食塩水100ml+キイトルーダ（抗がん剤）が入った点滴を約30分で行います
3本目	生理食塩水50mlの点滴を5~10分で行います
4本目	生理食塩水100ml+アバスチン（抗がん剤）が入った点滴を ・初回：約90分 ・2回目：約60分 ・3回目～：約30分で行います
5本目	生理食塩水50mlの点滴を5~10分で行います 終了後、針を抜きます

針の入っているところが赤い、腫れている、痛みがあるときは
すぐにお知らせください

気分が悪いとき我慢せずお知らせください

（特に全身のかゆみがある、息苦しい、唇が腫れる、のどが
腫れたような感じがする）

めまいやふらつきなどがあるときは動く前にナースコールを
してください





今日の日目標

- 副作用症状出現時は、医療スタッフに伝えることができる
- 退院後の日常生活の注意点について理解できる

<時間> <予定>

6:00 起床、検温

7:30 朝食

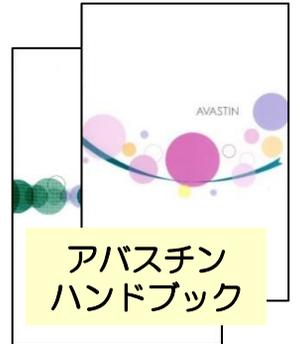
活動に制限はありません
体調に合わせてシャワー浴をしましょう
看護師がお手伝いします

10:00 検温

★毎週金曜日は体重測定します

12:00 昼食

副作用症状と日常生活の注意点について説明します
「アバスタチンハンドブック」参照
「キイトルーダ治療ハンドブック」参照



退院前日には・・・
退院後の注意点などをご説明します
「退院後の日常生活について」ページ参照
「アバスタチンハンドブック」参照
「キイトルーダ治療ハンドブック」参照



18:00 夕食

このパンフレットを用いて説明します

21:30 消灯



尿や便から抗がん剤が排泄されます
点滴をしてから2日間は1回では十分
流しきれないためトイレでの排泄後は
ふたをして水を2回流しましょう

医療スタッフの日目標

- 副作用症状の早期発見に努めます
- 退院後の日常生活に不安がないよう支援します



退院日 月 日

今日の目標
・退院できる

<時間>

<予定>

6:00

起床、検温

7:30

朝食

「入院診療費料金連絡票」をお部屋までお持ちします
2階窓口でお支払終了後、病棟まで連絡票をお持ちください
次回外来予約票をお渡しします

10:00

退院

退院前に忘れ物がないようにご確認ください

次回外来受診日は

月 日 () 時 の予定です

治療後、時間が経って出現する副作用もあります
「アバスチンハンドブック」参照
「キイトルーダ治療ハンドブック」参照

副作用症状について再度理解し、次の治療に向けて
体調を整えておきましょう



MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

・退院後の日常生活に不安が残らないように支援します

退院後の日常生活について

★活動

規則正しい生活をして、適度な運動をしましょう
疲れたときは十分な休息をとりましょう

治療後も血圧の変動に注意する必要があります
退院後は、血圧の自己測定を続けて行いましょう
毎日起床時など、決まったタイミングで測定するとよいでしょう



★食事

バランスの良い食事を心がけ、食欲がないときは無理をせず、
食べやすいものを食べられるときに食べるようにしましょう



★お薬

薬が処方されている場合は、医師の指示どおりに服用しましょう
他の病院のお薬を服用する場合は、医師に相談してください

★清潔

入浴やシャワー浴をして体を清潔にしておきましょう
発熱時やだるさが強い場合は入浴を控え、ホットタオルなどで
拭くようにしましょう
歯磨き（歯ブラシは小さく毛の柔らかいものを使用）、
うがいをして口の中を清潔に保ちましょう
お薬の影響で血が止まりにくくなることもあるため、
口の中を傷つけないよう優しくブラッシングしましょう



★性生活について（パートナーの方も一緒に読みましょう）

治療を受けた後は、性生活に様々な変化が見られることがあります
退院後、パートナーとの関係に不安を持つ方も少なくありません
自分の気持ちを伝えたり、話し合ったりすることが大切です



★仕事

社会復帰（特に重労働：荷物運びや長時間の立ち仕事、長期の旅行、スポーツ）については、医師と相談してください

これから先、安心して働き続けるためには、体の状態に合わせた休み方や働き方が必要になることもあります

病院では、患者さんの「働きたい！」をサポートしています

私たちと一緒に考えていきましょう



【相談窓口】

がん相談支援センター相談員

- ・医療ソーシャルワーカー、看護師

<出張相談>

- ・ハローワーク松山就職支援ナビゲーター
- ・両立支援促進員（社会保険労務士）

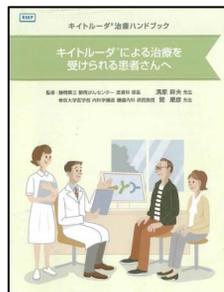
ご相談は、がん相談支援センターへお問い合わせください

★その他

虫歯、歯肉炎、義歯などの口腔内のトラブルはないか確認しましょう

治療開始後、歯科治療が必要なときは医師に歯科受診について相談してください

インフルエンザ等の予防接種を希望される場合は、医師にご相談ください



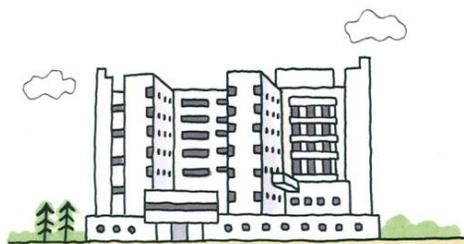
キイトルーダ
治療ハンドブック

退院後、注意すべき症状については、アバスチンハンドブックの最終ページ、キイトルーダ治療ハンドブック P22、P23をご参照ください



MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう



◆アバスチンハンドブック最終ページ

「ご連絡いただきたい症状」に記載されている症状が出たとき

◆キイトルーダ治療ハンドブックP22、P23

「キイトルーダの副作用として予測される症状」に記載されている症状で、生活に支障を来すようなひどい症状があるとき

上記のような症状がある場合や、その他ご心配なことがある場合は、
がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】 8:30~17:15

四国がんセンター がん相談支援センター
(直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土・日・祝日】

日直/夜間当直師長
(代表番号) 089-999-1111

* 外来受診日や検査予約日の変更については、
予約センターにご連絡ください

【平日】 8:30~17:15
(直通番号) 089-999-1112



アバスチン+キイトルーダ療法を受けられる方へ